

教科の目標はどのように改訂されたか。

○ 技術・家庭科の目標

従来と同様であり，基本的な考え方は変わっていないが，これからの生活を見通し，よりよい生活を創造するとともに，社会の変化に主体的に対応する能力をはぐくむ観点から，家庭分野の目標について次のような改善を図っている。

「家庭分野の目標」

①衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して，生活の自立に必要な②基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに，家庭の機能について理解を深め，③これからの生活を展望して，課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

- ◇ ①では製作，調理などの実習や観察，調査，実験などの実践的・体験的な活動を通して学習するという教科における学習方法の特質を述べている。
- ◇ ②では，学習指導要領全体の表記と統一を図る視点から，これまでの「基礎的な知識と技能」を「基礎的・基本的な知識及び技能」と表現を改めている。
- ◇ ③では，将来にわたって自立した生活を営むための見通しをもつための時間軸を述べている。

家庭分野においては，自己と家庭，家庭と社会とのつながりを重視し，これからの生活を展望して，よりよい生活を送るための能力と実践的な態度の育成を重視する。